

第3回舟着地域協議会 会議録		公 開 ・ 非公開	
日時	令和7年6月15日（日） 午前8時30分～午前11時31分	場所	塩沢構造改善センター 会議室
出席者	（委員） 荒川浩幸、河口利幸、鈴木 仁、加藤春夫、山口和夫、古田 忍 豊田幸応、山下健次、原 達也、柿田文恵、飛安章智、森 勝哉 櫻井利昭、池田嘉子、清水幸代		
	（事務局）服部所長、早川参事、後藤主任、森本主査		
欠席者	樋口義治、廣瀬秀雄	傍聴者	6人
議題・議事・ 発言等	1 開会 2 説明 3 公開審査（プレゼンテーション） 4 最終審議【非公開】 5 議事 （1）令和8年度地域自治区予算の事業検討について （2）令和7年度地域自治区予算事業の実施について 6 その他 次回の舟着地域協議会について 7 閉会		

1 開会

（会長）

半数以上の委員が出席しているため、新城市地域自治区条例第8条第3項の規定を満たしており、会議が成立していることを報告した。

今回の会議録署名人は山口和夫委員と古田忍委員となることを報告した。

2 説明

事務局から令和7年度舟着地域自治区地域活動交付金審査について手順、採点方法、留意点の説明を行った。今回の審査は令和7年2月16日に行った審査の追加分として実施したものであるため、採点方法等は引継ぐものであると説明した。

3 公開審査（プレゼンテーション）

地域活動交付金申請団体が申請順により事業説明（プレゼンテーション）を行い、委員による審査を行った。

	申請団体名	事業名
1	塩沢構造改善センター 運営委員会	塩沢構造改善センター舟着地区活性化事業
2	市川環境整備の会	地域景観向上事業
3	塩沢上組自治会	上組公会堂の施設整備事業

4 最終審議【非公開】

地域活動交付金採点票集計結果を委員に対して報告し、申請団体に対する意見について委員からの意見をもとに整理した。

審査結果と整理した意見を申請団体へ通知することについて採決を行い、賛成多数により認められた。

5 議事

(1) 令和8年度地域自治区予算の事業検討について

市内の全地域自治区で令和8年度から実施することができる「地域自治区予算と地域活動交付金の配分について」の説明をした。

これにより、地域自治区予算から地域活動交付金へ予算を増額できることとなるが、そのためには前年度に建議する必要があることを説明した。また、地域自治区予算と地域活動交付金の合計金額は不変であること、地域活動交付金から地域自治区予算には増額できないことを説明した。

委員	各自治区の地域活動交付金の現状をお聞きし、各自治区で上限額が異なる現状は分かります。この舟着地区ですが、構成行政区が少なく、地域活動交付金の予算を簡単に上げるのは慎重にした方が良くと思います。自治区内人口が少ないので、例えば上限額を20万円から30万円に上げた場合、これを十分に活用できるのか不安です。現在も20万円の枠より少ない10万円で申請する団体もあります。もし活動のために30万円が必要な団体が現れれば良いのですが、現状では少し疑問です。例えば、20万円の上限枠を維持し、採択団体数を増やすのも一つの案としてあります。
事務局	様々なパターンがありますので、協議会で議論していただいて建議書に記載していただきたいです。
委員	建議書に載せるということは、毎年度、金額が変わっても問題ありませんか。
事務局	問題ありません。
委員	この増額案について基本的に賛成です。例えば、審査会でプレゼンテーション無し書類審査のみの場合は上限額5万円にする。この部分を作る増額でしたら賛成です。そして、その枠を利用して上限額30万にする等です。
事務局	他の自治区では、一定金額を基準としてプレゼンテーションを省略し、質疑応答のみとする審査会もあります。申請希望団体でプレゼンテーションがハードルとなっている団体もあると思います。 この協議会で、地域の皆さんが交付金を活用しやすくかつ、その活動が地区の皆さんに理解していただけるようになればと思います。この域活動交付金の増額の話は、今まで行ってきた活動交付金を一度見直すきっかけにさせていただけたらと思います。

委員	地域活動交付金ではなく地域自治区予算について質問です。 新城中学校は舟着小学校と新城小学校の卒業生が通学していますが、新城中学校の体育館が夏場、過酷な状況ということで、熱中症対策としてスポットクーラーを両自治区で提案することは可能でしょうか。
事務局	約8年前に鳳来中学校50周年記念で鳳来地区の自治区が予算を出し合って記念事業を応援した事例があります。舟着地域自治区と新城地域自治区は人口や予算規模が異なるため、両協議会で十分な調整が必要です。かなりレアケースな内容となりますので、内容をしっかりと検討し、情報を共有していく必要があります。

6月2日(月)を投函締切とした調査票（令和8年度舟着地域自治区予算事業の提案）の集計結果（[資料4](#)）を基に、地域自治区予算検討シート（[資料5](#)）を参考にしながら次年度の検討をしていただくよう説明し、グループワークを行った。グループワークでは各グループのテーマに縛られることなく、地域活動交付金へ予算を増額する件も踏まえながら自由な意見出しを依頼した。

舟着茶話会グループ

委員	おそらく来年1月に第8回茶話会があります。今回も7, 8グループに分かれて模造紙に色々と想いを描いてもらいますが、茶話会に参加されていない方々に内容が伝わっていない可能性があります。茶話会後に舟着地域の皆さんに情報が共有できるよう「茶話会だより」等で周知するための予算も必要であると思いました。
----	--

舟着の魅力発見グループ

委員	地域活動交付金へ予算を増額についてです。交付金申請団体のハードルが高かった事実もあります。ただし、闇雲に使われてしまうのもどうかという考えもあります。消耗品単体申請の簡略化も考えても良いと思います。
委員	地域活動交付金へ予算を増額については良いことです。これまで申請されていた団体が事業を大きくすることができますし、さらに2年度に跨いで実施することで大きな物を作ることもしばせません。今まで活動交付金を利用されてきた団体の希望を踏まえ、増額するか判断できると良いと思いました。

ネットワークづくりグループ

委員	熱中症対策や物価高対策を自治区予算として、踏み込んだ活用ができたらと思いました。出来ること、出来ないことはありますが、熱中症対策では、この異常気象のご時世もあるので、公共施設への設置ではなく、個人宅への設置援助をしても良いと思います。物価高対策でも、給食費をはじめ値上がり分だけでも利用できたらと思います。つまり、自治区予算で地域の力になるような使い方ができればと思います。 消防団支援について。現在、団員は少なく活動の範囲が限られています。有事の際には区長さん等にご協力いただきながら、物資支
----	---

	援や施設開放などの連携をしていましたが、現状、消防団員をそこに充てるのが大変な状況です。そこで、後方支援隊を編成し、自治区予算に継続事業として計上し、明文化していくのも一つの手かと思いました。 盆踊りについて。吉川地区では区単位やっているのですが、せっかくなら舟着地区全体の盆踊りができたらと思います。この案については一度、ネットワークづくりで検討しましたが、規模が大きく検討を断念しました。そこで活動交付金を利用して実現できたらと思いました。他の地区では、夏祭りを行っている例はあります。ここからは個人の考えです。現在の問題は、準備をやってくれる人が居ないことです。そこで例えば、活動交付金上限40万円で、実行してくれる人を探し、プレゼンで判断するという案です。 ネットワークづくりについて。こども園の交流会は今後も考えており、次は市川区との交流を考えています。味噌作りについては、ここで一区切りを考えています。その代わりとして、心豊かな子ども育成事業にある「舟着小学校のぶどうの木」を管理としてではなく、ぶどうの木を利用したネットワークづくりをできたらと思います。管理としてではなく、体を動かすというアプローチで活動できたらと思います。
--	---

（２）令和７年度地域自治区予算事業の実施について

第２回地域協議会で舟着茶話会事業グループ、舟着の魅力発見事業グループ、ネットワークづくり事業グループに分けた３グループは、今後、地域協議会とは別で事業検討をしていただく説明をした。

各事業の事業検討シート（**資料６**）に沿ってグループ毎に具体的な検討をした。

舟着茶話会グループ

委員	令和８年１月の日曜日の午前開催を計画しています。 次回の打合せは、７月１０日１８時～１９時、児童館前集会所で開催します。
----	--

舟着の魅力発見グループ

委員	前年度作成したマップの検証ということで、現地確認を令和７年７，８月頃と令和８年１月頃を考えています。その時に標識とルート確認をするとともに、舟着山山頂の見晴しの状況も確認したいと思います。その際には、皆さんにもお声がけしたいと思います。 次回の打合せは、本日の参加人数も少ないため未定です。
----	---

ネットワークづくりグループ

委員	ネットワークづくり事業については、2つのイベントを行います。こども園の園児との交流について、順番により今年度は市川区さんとの交流を考えています。時期は12月開催を想定しています。 もう一つのイベントについては、①ぶどうの木②竹トンボ③門松づくり④料理教室の4案が出ています。まだ講師の方にアプローチはできていませんが、この4つの中からどれかできたらと思います。
委員	舟着小学校ぶどうの木について補足です。今年5月まで舟着地区の方が一人で管理していましたが、体調不良で管理が困難になりました。まずは私が個人的に管理を継続していますが、継続的な管理を考えた場合、何かしらの仕組みが必要かと思います。小学校の先生方も覚えたいという希望もあり、マニュアルを作成しています。このマニュアルをみれば一通りのことができるようにしたいと考えています。興味がある方は1日でも良いので、参加していただけたらと思います。
委員	ネットワークづくり事業では、「体を動かす」を新たなテーマとして考えています。このぶどうの木を活用した事業をできたらと思います。収穫の時期を考えると、今年度より来年度を考えています。
委員	次回の打合せは、7月10日協議会后30分間、行います。場所は鳥原児童館です。
委員	資料4の中に高齢者支援について2つの意見があります。一つ目は、この地域の最大の課題は高齢者対策で、草刈り代行等の事業を実施する仕組み作りが大切ということ。二つ目は、子ども人数が減少しているが世帯数は変わらず、高齢化が進行しており、まずは現状把握の必要性があるということです。 この辺りの話も次回に議論すると、より良いものになると感じました。

6 その他

会長から第4回舟着地域協議会は、7月10日（木）午後7時00分から鳥原児童館で開催することを報告した。

7 閉会

会長から第3回舟着地域協議会の中で全体を通して意見や質問がないか確認した。

会長から地域協議会の内容について、舟着地域自治区地域協議会に関する運営要綱第6条により、事務局で会議録を作成し、ホームページ等で公表することを報告した。

（配布資料）

次第、舟着地域自治区令和7年度地域活動交付金事業審査会【追加募集分】申請団体に対する事前質問事項一覧、舟着地域自治区令和7年度地域活動交付金事業審査会【追加募集分】審査できない委員まとめ、地域自治区予算と地域活動交付金の配分について、調査票まとめ、地域自治区予算検討シート、令和7年度舟着地域自治区予算事業検討シート（舟着茶話会事業、舟着の魅力発見事業、ネットワークづくり事業①②）